

平成28年度「社会福祉法人えどがわ」事業実施状況一覧

区分	実 施 内 容
組織・ 服 務	昇任選考の実施(上級職員及び副主任 長期・短期)
	完全週休二日制への対応、働き方改革
	キャリアパスにつながる研修計画の策定
	職場環境向上委員会の継続
	法人スローガンの制定
	～ つなげよう ～ みんなの笑顔・みんなの未来
人事・ 給 与	給与規程の改正(ベア実施・新処遇改善手当・役職手当の新設及び増額)
	就業規則の改正(完全週休二日制、ハラスメント規程等)
	人事考課制度の実施及び給与反映
	非常勤職員の処遇見直し(月給制導入及び処遇改善の実施)
	マイナンバー制度システムの拡充(各園からの電子申請)
事業	業務管理体制整備規程の制定
	給食業務委託の評価(保護者アンケート・食材コスト等)※委託費・職員配置基準の統一
福利 厚生	住宅借り上げ事業の対象者拡大(制度利用者125名)
	安全衛生規程の制定
	ストレスチェック規程の制定
	労災上乗せ保険等の加入
	職員報の発刊
安全	防犯カメラ・電磁ロック・夜間警備の導入(全園)
	AEDの設置(全園)
求 人	求人対策用保育園紹介ビデオ作成(ホームページで視聴可)
	就職説明会用ボード・パンフレット作成
財 務 管 理	予算及び執行状況の見える化(クラウド対応)
	会計処理の入力代行及びネットバンキングの権限見直し
	財務分析と収支差額の計画的積立及び本部拠点への資金移転
	資金運用規程の制定
I C T	人事・給与システムの導入
	職員勤怠システムの導入(シフト作成の自動化)
	グループウェア(社内メール・スケジュール・掲示板等)・ワークフローの導入
	園児管理システムの導入(入退室・各記録作成) タブレットの設置
	ホームページの完全リニューアル

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	20 人	24 人	35 人	35 人	35 人	149 人
運用定員	20 人	24 人	35 人	35 人	35 人	149 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の質の向上を図る。(技術・知識・対応)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスにリーダー職員を配置し、若い職員の育成指導を行い、会議の中で小さな疑問点も話し合うことで共通理解が出来、体制作りを行った。又、ヒヤリハット事例を通じた保育の振り返りを行う事により、気づきも多くなり、全体に目を向けられるようになった。引き続き、全職員がスキルアップを図れるような体制を提供する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援施設としての機能充実を図る。</li> <li>・保育園情報の発信と共有</li> <li>・ボランティア・実習生の受け入れの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育や子育てひろばの利用者が多く、在宅の子育て利用者に好評を得ている。</li> <li>・近隣の共有プラザにもお知らせ等を毎月掲示して頂き、ブログ等で保育園の情報を発信。地域に頼られる保育園作りを目指した。</li> <li>・実習生等については就職に繋がる関係作りを行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備の強化を図る。(危険箇所、防災、防犯)</li> <li>・ヒヤリハット、感染症</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の安全を第一に各保育室や園舎回りの環境整備に努め、危険箇所については早急に対処。開園から15年経過し老朽化も進んでいるため、次年度改修を検討する。</li> <li>・消防、警察の指導のもと訓練を行い防災防犯意識が向上。</li> <li>・ヒヤリハット、感染症の園内研修を行い、危機管理意識も高めた。保護者に掲示、集団感染しないよう努めている。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	49 名	耳下腺炎	1 名	手足口病	3 名	他	128 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月胃腸炎が流行し、ノロウイルスが原因である事が判明、保健所に連絡、指導を受ける。感染を防ぐ為のアドバイスにより、トイレと室内との間にピューラックスで浸したマットを設置。嘔吐処理の基本を再確認。今後も感染の流れに気を付けるよう記録をした。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	9 人	単品	7 名	複合	2 名	エビペン対応	1 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止の為、アレルギー食の提供に至るまでは複数の目による確認を行い、給食について誤食は無かった。今後も事故の無いように努める。食育として野菜の栽培、収穫。乾物、野菜、魚について知る体験を取り入れ、食への興味を高めた。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は毎月1回、地震、火事、津波を想定した訓練を計画的に設定。全職員が災害に対して知識を高められるよう取り組んだ。第2避難場所の第2葛西小学校と連携を取り、校舎3Fまでの避難も実施。葛西警察署指導のもと防犯訓練を行い、子ども達の安全確保の方法を学んだ。</li> </ul>
---

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>・和太鼓、リトミック、英語を継続して行い、和太鼓は夕涼み会、年度末のおさらい会等、発表の場を設け、日頃の成果を披露。子ども達の自信へと繋がる。体育活動は発達に合わせた内容を日々の保育に取り入れ、個々の身体機能の発達を促し、卒園児は他園とのドッジボール交流を行った。様々な体験をすることで就学に向けての不安を軽減し小学校の期待も膨らんだ。</li> </ul>
--

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育は、昨年同様にリピーターも多く、予約もすぐに埋まるほどニーズが高い。一時保育の為に年間592名の見学があった。子育てひろばも同様で577名の参加があり、継続的な利用者も多い。保育園の入園希望の見学については、年間243家庭に実施し、相談や質問等に丁寧に応じるよう努めた。</li> </ul>
--

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象118世帯に実施。回収は53世帯(44.9%)。利用者調査に対する総合的な感想は「大変満足」が22人(42.3%)満足が28人(53.8%)。自由意見には「明るい雰囲気、相談しやすい環境である」と良い意見もあるが、登降園時の挨拶、伝達が人により差があると指摘を受け、全職員で意見を共有し、改善する。</li> </ul>
--

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	3名	5名	7名	6名	13名	34名	実施回数	25回	参加人数	577名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	54名	59名	66名	57名	55名	57名	40名	42名	42名	35名	36名	49名	592名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	3名	1名	2名	6名	6人	0人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉症スペクトラム	2	知的障害	3	発達遅滞
---	-----------	---	------	---	------

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	26名	13名	39名	26名	32名		3名	56名	30名	39名	8名	94人	42人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	22件	9件	14件	12件	15件	2件	0件	1件	1件	19件	31件	10件	136件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	12月21日	発生状況	誕生会終了間際にお礼のお辞儀をする際、他児がふざけて本児の頭を押した為、前列の椅子に口をぶつけ歯にぐらつきがみられ出血も見られた。
	発生場所	2Fホール	発生原因	お辞儀はこうするのと、他児が手を添えて悪気は無かったが押した為ではあるが、近くに保育士がおらず、全体に目が行き届いていなかったのが原因。
	対象	4歳児	検討内容と対応策	園医の歯科にすぐ受診。ぐらつきはあるが特に問題なし。誕生会の際に椅子の距離を取るよう改善し、保育士の立ち位置を確認した。クラス全体でも、誕生会での参加の約束を再度確認した。
	発生日	3月2日	発生状況	園庭で遊んでいた際、木登りをしていた他児の足が、本児の左目に当たり砂が入る。手で目を擦り目に傷が付き白目が充血。
	発生場所	園庭	発生原因	園庭遊びを行う前に、約束事の確認を十分に行っていなかった。職員の視野が全体に行き届いていなかった。
2	対象	5歳児	検討内容と対応策	眼科を受診すると、眼球に傷がついていたので目薬を処方。1週間で完治。遊ぶ前には約束事を十分に確認すると共に、職員の立ち位置を再確認する。

11. 研修

園内研修	外部研修	
7回	38回	82人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
9校	20名	12校	22名	1回	1名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	20 人	23 人	23 人	23 人	23 人	112 人
運用定員	20 人	23 人	23 人	23 人	23 人	112 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育目標の徹底と保護者への理解を求める。</li> <li>・組織力を高め、職員の専門職としての知識・技術面での強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育目標を職員一人ひとりがより深く理解し、日常の保育に計画的に組み入れ、実践していくように努めた。保護者には保護者会等を利用し周知した。</li> <li>・職員一人ひとりの専門性を高める為に内外の研修へ参加。研修で学んだ内容を報告し、職員に発信共有できる機会を持った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策、危機管理の意識の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPのバージョンアップを職員全員で行った。又、共に日常の中に潜む危険についての意識を高め確認、報告の徹底を行った。</li> <li>・避難訓練を通し、問題、課題等を話し合い、個々がどのような役割をするのかを、次に活かすように取り組んだ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、子育て支援の場の提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育てに関するニーズを把握、魅力ある子育てひろばを開催し、子育て支援を展開した。又、保育園を知って頂くため、在園児と遊べる機会を多く持った。</li> <li>・子育ての相談もしやすい場を作り、地域の公共施設として役割を担い活動した。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	手足口病	25 名	インフルエンザ	13 名	胃腸炎	10 名	他	27 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者には掲示を行い、今保育園で流行っている病気について周知を行った。又、保護者兄弟等が感染症の疑いがある場合は、門対応を行い、感染の拡を防ぐよう心掛けた。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	6 人	単品	5 名	複合	1 名	エピペン対応	1 名	エピペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー食品の種類は卵、牛乳、乳製品で給食業者と連携を図り、誤食がないよう努めた。</li> <li>・エピペンは1名預かったが一度も使用しなかった。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の避難訓練を通して個々の動きを再確認した。BCPを作成を通して、再度職員の役割を確認するようにした。ヒヤリハットを職員で共有し、振り返りを行い、更に危険について意識出来るようにした。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽教室、体育、英語の活動を行い。講師によるアドバイスを受け、日常の保育に取り入れることで、子どもたちが楽しんで行えるよう取り組みを行った。又、一人ひとりが、課題について出来たことを自信に繋げ、子どもたちのやる気を引き出すよう心掛けた。</li> </ul>
---

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのことを一番に考え、子ども中心の保育を考える。子どもや保護者の様子を察知し素早く慎重に、問題解決するようを心掛けた。</li> </ul>
--

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートにて、園庭の水はけが悪く、子どもの遊び場として改善の意見があり。園庭を快適な保育環境にする為、次年度に改善策を検討。</li> <li>・子どもの様子を詳細に知りたいとの意見があり、引継ぎ時の伝達方法や保護者への伝え方について、職員で再確認を行い改善した。</li> </ul>
---

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	4名	8名	5名	8名	4名	29名	実施回数	16回	参加人数	74名

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	0名	2名	1名	3名	3人	0人

主だった主訴（上位3つ）

1	言語発達遅滞	2	知的発達遅滞	3	サポートセンター相談中
---	--------	---	--------	---	-------------

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	44名	12名	11名	14名	6名		10名	40名	6名	21名	10名	57人	30人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	7件	15件	8件	8件	10件	6件	3件	2件	1件	7件	8件	12件	87件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況	
	11月21日	玩具の車を走らせて遊んでいる時に突然泣き出し、様子を見ると左腕が動いていなかった。	
	発生場所	発生原因	
	1歳保育室	玩具の車を床で走らせていた時にバランスを崩し左肘が脱臼。	
	対象	検討内容と対応策	
1歳児	乳児は腕が抜けやすいことを全員が把握し、危険な遊びをしていないか意識して保育にあたりると共に移動をさせる時には腕を引っ張らず身体全体を支えながら移動させることを周知する。		
2	発生日	発生状況	
	12月16日	雲梯に登っている時に友達とふざけて落下。口元が地面に当たり前歯(上)2本を強く打ち出血する。2本のうち左側前歯に少しぐらつきが見られた。	
	発生場所	発生原因	
	公園	友だちとふざけ、追いかけられ、雲梯に逃げて登っている時にくすぐられバランスを崩し落下する。	
	対象	検討内容と対応策	
5歳児	固定遊具の遊び方を再度子どもたちに周知する。又、保育士も常に危険予測をし、子どもたちの動きを把握する。立ち位置も考えお互いに声を掛け合うようにする。		

11. 研修

園内研修	外部研修	
3回	19回	34人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
4校	6名	2校	9名	18回	22名

### 1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	12 人	18 人	22 人	24 人	24 人	100 人
運用定員	17 人	22 人	24 人	24 人	24 人	111 人

### 2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上</li> <li>・音楽活動を通じた年齢に応じた保育の継続と季節にあった行事の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修については、法人研修に全職員が参加した。又、外部研修等への参加を通して、保育の質の向上に努めた。</li> <li>・全クラスのタイムスケジュールを職員間で見直し、年齢にあった生活リズムを再構築した。その中で歌や楽器演奏を通し、音楽活動に触れ、12月の発表会で保護者の前で歌や演奏を発表し、好評を得た。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギー対策の実施</li> <li>・より安全な保育園の為に防犯と防災に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーについては、家庭や給食業者、職員間の連携はもちろんのこと、保護者会等でも危険性を周知し、園全体で事故防止に努めた。</li> <li>・毎日の送迎時の門扉開閉時間の管理や運動会等の行事に、保護者の方にリボン等の目印を配布、園全体で防犯に努めた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援の場の提供</li> <li>・在園児への家庭支援の強化</li> <li>・実習生等を受け入れ、人材育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回、開催している子育てひろばは、昨年度よりも利用者数が少なく、内容がありきたりになってしまっている為、今後の内容を検討していく。</li> <li>・在園の保護者向けには、保育士体験等を実施し、より子どもの様子を知っていただくよう努めた。実習生やボランティア等は、可能な限り受け入れを行い、人材育成に努めた。</li> </ul>

### 3. 養護

#### 健康・病気

感染症	インフルエンザ	63 名	耳下腺炎	0 名	手足口病	1 名	他	42 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月にインフルエンザが多く流行した。感染症については、発生後すぐに玄関脇のお知らせボードに掲示し、注意喚起を行っている。</li> </ul>								

#### 給食・アレルギー

アレルギー児	6 人	単品	2 名	複合	4 名	エビペン対応	2 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と給食業者と保育園の連携を行い、給食の提供を行った。その為、昨年に引き続き事故や誤食は1件もなかった。今後も、事故のない様に努める。</li> </ul>									

#### 危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定の園外避難場所への実際の避難訓練を年2回実施した。そのうち1回は、近隣の公共施設と連携を行い、津波を想定したの訓練では、公共施設の4階まで避難訓練を行った。</li> <li>・警察署の指導の下、実技指導を交えながら不審者訓練を実施。今後も継続していく。</li> </ul>
--

### 4. 教育

<p>リトミックや和太鼓を継続して行った。和太鼓は、夕涼み会で舞台の上の発表だけでなく、盆踊りの際にも交代で園児が太鼓を叩いた。その為日々の活動に対して、よりいっそう親しみを持っていただいた。今後も特色の一つとして継続していく。</p> <p>また、各活動の始まりや終わりなどメリハリや礼儀やにも力を入れた。</p>
--

### 5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育は、昨年度よりも約100名ほど多い593名の利用、常時定員一杯の状況であった。</li> <li>・入園等の為の見学については、年間通して希望があり、家庭ごとに丁寧に案内し、説明する事を心掛け、保育園を理解していただくよう努めた。</li> </ul>
--

### 6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートを実施。全体的に保護者からの満足度が96.2%と高かった。内容も活動やあそびについて、家庭と保育園の信頼関係について等の項目で、90%を超える意見を頂いた。保育の内容、日中の子どもの様子等、保護者にわかりやすく丁寧に説明する事を心掛けている結果であると考えられるため、今後も継続して実施していく。</li> </ul>
---

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	2名	2名	2名	4名	3名	13名	実施回数	23回	参加人数	310名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	50名	38名	41名	44名	40名	44名	54名	55名	48名	47名	66名	66名	593名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	1名	0名	0名	0名	0名	1名	0人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	糖原病1B型	2		3	
---	--------	---	--	---	--

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	46名	16名	10名	16名	7名		8名	39名	24名	24名	0名	71人	24人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3件	6件	5件	6件	3件	3件	6件	10件	5件	10件	23件	15件	95件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況
	9月6日	ほのぼの交流会の伝承遊びの準備中に友達と待っていたが、腕をねじられたと本人より泣いて訴えてきた。脱臼が考えられるため、通院。
	発生場所	発生原因
	2階遊戯室	行事準備中、待つことが出来ず、友だちに左腕をねじられたことが原因である。
	対象	検討内容と対応策
5歳児	もともと腕の抜けやすい園児であったが、何かで待つ等の場面でも落ち着いて待てるようにしたり、担任も準備に追われるだけでなく、子どもの様子をしっかりとみることが大切である。	
2	発生日	発生状況
	1月31日	製作活動中、ダンボールをハサミを使い切っていたが、誤って自分の左手甲の親指つけ根を切ってしまった。
	発生場所	発生原因
	保育室	ダンボールの厚みを考えずに子どもが使用しているハサミで切ろうとした為。
	対象	検討内容と対応策
5歳児	子ども用のハサミで切れる素材を考えて、活動していく。もし、切るのであれば、厚みや固い素材の場合は、保育士も手を添えて一緒に切る、もしくは切り込み等、工夫していく必要がある。	

11. 研修

園内研修	外部研修	
2回	13回	38人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
5校	6名	1校	5名	9回	3名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	26 人	28 人	31 人	32 人	33 人	150 人
運用定員	28 人	30 人	31 人	31 人	31 人	151 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
・リズムあそびと体育あそびを組み合わせ、身体能力の向上を図る。	・子ども達の発達を促すリズムあそびで身体全体を動かした後には体育遊びのカリキュラムに基づき、マット、跳び箱、鉄棒、縄跳びなどを行うことで、怪我もなく、子ども達の身体能力の向上を図る事が出来た。
・子育て支援、活動の充実を図る。	・子育てひろばは月2回、子育て英語は月1回、保育所体験は年4回行った。子育てひろばと保育所体験では、在園児と地域の親子との触れ合う機会を設けることで、子ども達は歌を披露したり、優しく接する事が出来た。子育てひろばでは子育て相談を設け、子育て中の地域の方にも援助出来た。
・子どもの安全確保	・園庭門、登園門のオートロックや保護者駐輪場の工事を昨年度行い、園庭で遊ぶ子ども達の安全確保が出来た。又、保育の場面で人数確認、保育室の安全性を職員全体で見直し、事故のないよう改善した。 ・園舎の老朽化により、各保育室の出入り窓等、不安の残る箇所はあるが、職員が配慮することで補っている。

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	15 名	耳下腺炎	4 名	手足口病	3 名	他	45 名
・11月にノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行り、保健所へ報告、立ち入り等を行い、手際よく嘔吐処理が出来るように処理セットを各クラスに配置し感染症拡大の対策に努めた。子ども達にボランティアによる手洗い指導を実施し感染症予防に努めた。								

給食・アレルギー

アレルギー児	5 人	単品	4 名	複合	1 名	エピペン対応	0 名	エピペン使用回数	0 回
・法人共通献立になり、充実した給食となった。食育も野菜の栽培・収穫をしたり、食材洗い等体験した。又、法人栄養士による乾物食品の講座も楽しく参加した。アレルギー児対応は給食業者、担任、事務所でチェックを行い、誤食が無いよう努めた。									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回の避難訓練を実施。</li> <li>・ヒヤリハットは法人共通書式を取り入れ、昼礼時に報告するようにした事で職員の危険に対する意識も高まり報告件数は増え、事故防止に繋がった。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・リズムあそびと英語遊びを行った。英語遊びは、ネイティブな英語に触れながら英語を楽しむことが出来た。体育・リズムあそびでは、子ども達の発達に合わせたカリキュラムを作成し、楽しく様々な活動に挑戦した。又、体育遊び活動で身につけたメリハリある行動が保育にも良い影響を与えることができた。</li> </ul>
--

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域向けに子育てひろば、子育て英語、保育所体験を定期的に行い、好評を得ている。</li> <li>・在園児の保護者に対しては気楽に相談が出来るよう日頃からコミュニケーションをとった。又、降園時においても伝達事項のみではなく、子どもの様子も伝えるようにした。</li> </ul>
---

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園園舎の老朽化を指摘されていたが、駐輪場の設置と園庭出入り口のオートロックは保護者にも喜ばれ、安全面でも大いに役立っていると評価された。園運営に対しては概ね保護者の理解を得られた。</li> </ul>
---



7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	2名	4名	4名	4名	9名	23名	実施回数	24回	参加人数	298名

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	1名	0名	2名	1名	4名	3人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	肢体不自由	2	軽度のADHD	3	
---	-------	---	---------	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	30名	13名	4名	13名	1名		8名	39名	6名	7名	1名	34人	27人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1件	0件	1件	1件	4件	2件	0件	3件	0件	10件	23件	16件	61件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	8月31日	自由遊び時に本児が室内で走り転倒した際、他児が避けきれず本児の上に覆いかぶさってしまった。その時に左親指の爪を痛め、おでこも赤くなった。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	コマ回しをして子ども達のテンションが上がったことで、走ることを禁止しているにも関わらず勢い余って、他児とぶつかってしまった。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児	遊び方やルールを事前に知らせ、落ち着いて遊べるように声掛けしたりするなど留意する。												
2	発生日	発生状況											
	2月8日	延長保育時、椅子から立ち上がろうとした際、椅子の背に片手を置いた状態で転倒。下唇を椅子の背に打ち、下唇の内側も歯が当たり出血。											
	発生場所	発生原因											
	延長保育室	本児が立ち上がる際、バランスを崩してしまった。											
	対象	検討内容と対応策											
3歳児	椅子の位置や環境設定に配慮する。												

11. 研修

園内研修	外部研修	
6回	9回	17人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
4校	4名	3校	14名	2回	2名

### 1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	24 人	27 人	31 人	31 人	31 人	144 人
運用定員	24 人	27 人	31 人	31 人	31 人	144 人

### 2. 重点目標

重点目標	評価・反省
・職員一人ひとりの能力と組織力の向上	・経験年数に合わせた研修の参加、お互いの保育から学び合う環境を設定したことで、特に1、2年目の職員も著しい成長が見られた。 ・毎月のリーダー会議実施において、園全体に関わる変更点や保育内容、行事の改善点等を話し合い、全職員で共通理解することで、組織力への向上に繋がった。
・個々の発達と育ちの理解を深め、保育の見直しをし、子ども達と向き合う保育の実施	・日々の朝昼礼や毎月のクラス状況報告会議を通じて、全職員で各園児の把握し、配慮点や対応方法を学び、保育及び保護者との関わりに活かすことが出来た。 ・新たな取り組みとして、オリンピックに因み、運動会や食育の内容に取り入れた。又、保育室内の環境設定を整えることで、より豊かな遊びの提供を心掛けた。
・安心、安全な保育園作り	・避難訓練では時間の設定等知らせず実施することで、職員一人ひとりの意識の向上に繋がった。防災担当職員を中心に備蓄品の再確認と見直しを行い、周知徹底を行った。 ・空調機、玄関、段修理、トイレ床シート交換、雨樋清掃、玩具棚・本棚・食器洗浄機の入れ替えを実施した。

### 3. 養護

#### 健康・病気

感染症	インフルエンザ	50 名	溶連菌	27 名	胃腸炎	14 名	他	30 名
・インフルエンザ、溶連菌感染症、胃腸炎が流行した。特に12月に胃腸炎に罹る子どもが多く、発表会と重なり、予防を含め様々な対応を実施した。インフルエンザは職員を含め、予防接種をしても発症する事が多かった。ヘルパンギーナも14名いた。								

#### 給食・アレルギー

アレルギー児	6 人	単品	3 名	複合	3 名	エビペン対応	1 名	エビペン使用回数	0 回
・オリンピックに因んだ給食を通し、国旗や外国への関心が高まった。又、様々な取り組みを通し、残食が無くなる等の成果が見られた。 ・アレルギー食の確認や対応に細心の注意を払い、誤食事故は無かった。									

#### 危機管理

・津波時の訓練では、近隣の学校の協力のもと、屋上まで避難する訓練を実施した。又、警察、消防署立ち合いのもと、不審者や消火訓練を実施した。 ・法人合同訓練を通し、連絡方法や職員の役割を見直し、意識を高める事が出来た。
--

### 4. 教育

・幼児クラスは週1回講師による体育教室を実施。集中力が高まり、楽しみながら心身の発達を促すことが出来た。年長児は運動会に向けて意欲的にマット、鉄棒、跳び箱に取り組んでいた。 ・英語あそびは、乳児も大人との交流を楽しむ様子が見られた。幼児クラスは、発音等も上達し年長児の発表会における英語歌の披露においては、就学への自信に繋がった。
--

### 5. 家庭支援

・一時保育は、新規登録者、利用者共に多く地域に根付いた支援となっている。子育てに関する相談に対応することも増えている。子育てひろばも毎回多数の親子が参加し、園児との交流の時間を共に楽しんだ。 ・年間を通し、園見学の人数が多かった。回数を増やす等で対応した。
---

### 6. 第三者評価、利用者アンケート

・利用者アンケート結果：満足以上97%（大変満足50%、満足47%） ・室内環境や発達に合わせた豊かな感性を育む活動、遊び面での満足度が高かった。 ・保育園運営の理念や方針及び外部の苦情相談窓口の理解度が低かった為、伝え方を工夫する。
---

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	6名	6名	6名	5名	10名	33名	実施回数	14回	参加人数	544名

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	33名	35名	34名	31名	27名	31名	32名	33名	26名	28名	35名	40名	385名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	1名	0名	2名	0名	2名	5名	4人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉症スペクトラム	2	注意欠陥・多動症	3	中等度発達遅滞
---	-----------	---	----------	---	---------

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	94名	35名	37名	8名	12名		11名	165名	0名	10名	0名	131人	55人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	20件	13件	9件	9件	11件	18件	28件	13件	3件	17件	15件	30件	186件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況	
	9月30日	本児が椅子に座っている際、足を広げ椅子を前後に揺らし転倒。椅子が前歯に当たり、歯と歯茎の間で出血が見られ、受診。	
	発生場所	発生原因	
	保育室	本児が椅子に座った際、足を広げ前後に揺らしていた為。	
	対象	検討内容と対応策	
3歳児	クラス内で椅子の正しい座り方について子ども達に話し、今後繰り返すことのないように促した。又、本児の前歯が安定するまでは、常に保育士が傍に付き、転倒、再発しない様に担任内で話し合い、対応を統一し配慮していった。		
2	発生日	発生状況	
	11月25日	友だちと園庭で鬼ごっこをしている際、転倒し、下唇を噛み裂傷。	
	発生場所	発生原因	
	園庭	戸外遊びの際、走っていて前傾に思い切り倒れた為。	
	対象	検討内容と対応策	
5歳児	園庭遊びの際は、周りを見て遊ぶように伝え、又、危険の無いように環境の設定を見直していく。		

11. 研修

園内研修	外部研修	
5回	19回	44人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
5校	7名	1校	5名	0回	0名

### 1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	21 人	24 人	26 人	26 人	27 人	124 人
運用定員	21 人	24 人	26 人	25 人	28 人	124 人

### 2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの育ちを大切に 保育</li> <li>職員のチーム力、保育力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初頭よりクラス会議を導入、その中で子どもの発達を学び、具体的な事例をあげ話し合う事で気づきの大切さを職員が感じるようになり、個々の育ちに合った援助を行うことが出来た。それらを習慣化することで、活発に意見交換が出来るようになり、様々な場面で園全体のチーム力も向上した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者支援、信頼関係と家庭支援</li> <li>地域子育て支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭状況に寄り添い、保護者とのコミュニケーションを大切に対応した。面談以外でも状況に応じ、個別の時間を作り、丁寧に向き合うことで不安を解消した。</li> <li>子育てひろばは、実施回数を増やし、地域の子育て家庭に遊びの場を提供。育児相談に応じる等、核家族の親子支援を行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理、防災対策の意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理部門を作り、その担当が中心となり避難訓練を行ったことで、あらゆる角度から起こりうる状況を想定した訓練を行った。</li> <li>訓練後の反省を丁寧に行い、問題、課題を次の訓練に活かした。想定される災害のマニュアルを作成した。</li> </ul>

### 3. 養護

#### 健康・病気

感染症	インフルエンザ	36 名	耳下腺炎	0 名	手足口病	2 名	他	64 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>冬期にインフルエンザ、感染性胃腸炎が流行。兄弟関係からの感染が防ぎきれず、広がってしまった。インフルエンザは診断が付きやすいが、胃腸炎は医師の診断にばらつきがあり、治りきらないままの登園により広がってしまう傾向があった。</li> </ul>								

#### 給食・アレルギー

アレルギー児	5 人	単品	4 名	複合	1 名	エビペン対応	0 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>誤食がないよう提供前に園長、給食業者、担任での確認を行った。又、クラス内においても、アレルギー児をしっかりと管理し、誤食等の事故はなかった。</li> </ul>									

#### 危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を行うにあたり、職員一人ひとりが危機感を持てるよう、役職者不在の避難訓練、放送が機能しない想定したもの等、様々な想定で訓練を実施した。法人統一の総合訓練に参加し緊急時の連絡系統を実践した。</li> </ul>
--

### 4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>英語、体育あそび、リズムあそびを行った。講師に任せるだけでなく、方向性を園で持ち、1年間の指導計画を立案進めた。食育として、野菜の栽培やクッキング等で食への興味関心を高めた。毎日の給食を大切に楽しく食べる事を目標とした。又、給食献立を英訳してもらい食を通し日常の中に英語も取り入れていった。</li> </ul>
---

### 5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>一時保育では専任保育士が丁寧に保育にあたることでリピーターも多く安心して利用して頂けている。利用者との信頼関係も築かれ、育児相談に応じる機会も増えている。子育てひろばでは1歳前後の親子参加が多い為、あそびも年齢にあった環境を設定している。親同士の交流の広がり子育てひろばは孤立しがちな核家庭の親子のコミュニティの役割も担っている。</li> </ul>
---

### 6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケート実施。概ね満足という評価を得る事が出来た。「保護者の考えについて職員は話しを聞く姿勢がありますか」の項目が昨年と比較し25.7%向上。自園が重点を置いた項目であった為、努力の成果が得られ、職員の自信へと繋がった。今後の課題としてお迎えの時の伝達が少ないとの意見があり、保護者とのコミュニケーションの向上を図っていきたい。</li> </ul>
--

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	7名	2名	4名	5名	5名	23名	実施回数	16回	参加人数	299名

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	16名	26名	34名	22名	26名	31名	25名	28名	17名	16名	34名	33名	308名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0人	0人

主だった主訴（上位3つ）

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	~9:00	~12:00	~15:00	~18:00	~19:30	男児	女児
	21名	12名	5名	7名	3名		3名	26名	8名	10名	1名	34人	14人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5件	5件	5件	6件	5件	2件	2件	4件	1件	4件	6件	3件	48件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	7月15日	保育室内で本児がよろけて転倒。その際棚の側面に右目下をぶつけた。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	本児がぶつけた棚の側面にコーナーガードがついていなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
1歳児	園医受診、通院1回。打撲、目には異常は見られないとの診断を受ける。室内の危ない箇所すべてにコーナーガードをつけて安全な環境を整える。怪我をしてから気づくのではなく日々の生活の中でも常に子どもの行動を予測して職員間で話し合い改善していく。												
2	発生日	発生状況											
	12月5日	室内でリズムあそびを行っていた。終了後、本児より足が痛いという報告を受けた。確認したところ腫れがみられた。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	狭い空間で動きのあるリズムあそびをしたことで、他児との接触等の配慮が足りなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児	接骨院受診、骨折の可能性はなく軽い捻挫。室内でリズムあそびを行う際は、十分な空間が確保できるかを見極め、室内でも活動が可能な動きを選ぶなど保育士が保育環境をしっかりと考えていく。												

11. 研修

園内研修	外部研修	
5回	17回	37人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
4校	5名	1校	5名	15回	13名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	24 人	27 人	34 人	36 人	36 人	157 人
運用定員	24 人	27 人	34 人	36 人	36 人	157 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
・ 戸外遊びの充実	・ 全学年が戸外に出る機会を多く持ち、近隣への散歩も積極的に出かけた。活動に体操を取り入れた事で、保育士、子どもが体を動かす大切さについて、意識を持ち、活動に取り入れた。全学年の取り組みとして、畑でサツマイモの苗を植え、生長を観察し収穫を経験することができた。土に触れる機会を意図的にしていった。
・ 近隣地域とのネットワーク作り ・ 危機管理、安全対策の強化	・ 畑で作った菜の花、さつま芋を近隣に子ども達一緒に配ったり、地域で行われているイベントに参加し、和太鼓の体験等を行っている。保育園主催のコンサートも定着し、地域交流が出来ている。 ・ 園庭門に電磁錠を設置、暗証番号での開閉を行い安全強化した。避難訓練は近隣高校との協力のもと実施している。
・ 職員間のチームワーク作りと強化	・ 職員会議、クラス会議を実施し、職員間で情報共有に努めた。夏祭り、運動会等の行事について、全職員全員で実施出来たことが充実感に繋がった。保育士の専門性を高めるために外部研修に参加し、発表を行うことで、話し合い、意識を高めていく園内研修をした。

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	58 名	耳下腺炎	1 名	手足口病	0 名	他	60 名
・ その他の中ウイルス性胃腸炎が多く発症(23名)ウイルス性胃腸炎、インフルエンザについては区に報告し、保健所の指導を受けたことにより、職員の感染症に対する意識が高まった。								

給食・アレルギー

アレルギー児	7 人	単品	3 名	複合	4 名	エビペン対応	1 名	エビペン使用回数	0 回
・ アレルギー食に対して、全職員意識を高め、確認し誤配、誤食の事故は無かった。									

危機管理

・ 園庭門に電磁錠設置し、暗証番号入力など保護者に協力を得ている。 ・ 避難訓練では、全職員が初期消火や非常ベルの作動に対しての経験を行い、防災に対しての意識を高めた。近隣の高校に協力を依頼し、避難場所として訓練を実施した。
---

4. 教育

・ 定期的に取り入れた体操は、子ども達がとても楽しみにする時間となり、職員の遊びの提供の幅が広がった。日々の活動に取り入れられるようになり、子ども達の経験も増え、力になっている。 ・ リズム活動については、園内研修を実施し、全学年が取り入れられるよう努めた。
--

5. 家庭支援

・ プライバシー保護を念頭に置き、子ども達の日々の活動をブログに載せ、保護者に日々の活動について理解を得られるよう努めた。 ・ 子育てひろばは、毎回参加があり、クリスマスや豆まきでは20組強の参加があった。入園の為の園見学は、夏以降参加が多くグループに分け、一人ひとりの質問に対して丁寧に対応した。
--

6. 第三者評価、利用者アンケート

・ 利用者アンケートの自由意見の中で、登園降園時の保育士の対応や、伝達の不十分さ、行事の設定や経営層への不満は出されていたが、全体的に満足、大変満足が8割という結果をもらえた。安心して保育園に預けてもらえるように努めていきたい。
--

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	2名	3名	6名	2名	5名	18名	実施回数	11回	参加人数	81名

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	0名	2名	0名	2名	2人	0人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉症スペクトラム	2	知的発達遅滞	3	
---	-----------	---	--------	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	10名	8名	6名	7名	6名		1名	28名	3名	5名	0名	24人	13人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	10件	0件	2件	2件	1件	2件	4件	0件	1件	8件	4件	3件	37件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	7月21日	ホールでの運動会のパラバルーンの練習中、パラバルーンが膨らんだ上に、頭から飛び込み床に額を強打した。											
	発生場所	発生原因											
	ホール	障害をもった男児だが、パラバルーンが膨らみ、それが固いものと勘違いをし、急に飛び込んでしまった。											
	対象	検討内容と対応策											
4歳児	職員が付いてはいたが、止めることができなかった。普段あまり活発な姿が見られない子で予測ができなかった事が要因の一つであると思える。行動範囲が広がってきている事等やを踏まえて、注意、声掛け等の促しをしていくことで対応。												
2	発生日	発生状況											
	10月14日	午睡中に嘔吐。3分後に痙攣。一度意識を取り戻し自力で歩行するが、その10分後に再度嘔吐と失禁。2回目の痙攣を起こす。											
	発生場所	発生原因											
	5歳児保育室	熱性けいれんの既往歴があった。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児保育室	午睡中の一度目の嘔吐時は熱はなく、熱性けいれんとは判断できなかった。痙攣が始まってからも呼びかけに応答していたが、既往歴と様子から母親に直ぐ電話を入れ、お迎えの依頼と救急車要請の希望を伝え、消防署電話をした。												

11. 研修

園内研修	外部研修	
5回	15回	43人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
6校	7名	2校	9名	32回	5名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	17 人	20 人	24 人	26 人	26 人	113 人
運用定員	19 人	20 人	24 人	24 人	25 人	112 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士資質の向上</li> <li>・保育の質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月反省、巡回支援カンファレンスを中心に子ども達の育ちを全職員が共有する事で、個々の対応を共有する事ができ肯定的関わりを継続。</li> <li>・園長面談の他、職員チェックリストを活用し、役職者を中心に面談する事でより理解を深めた。</li> <li>・リーダー会議を重点に同じ目標で進んでいくよう努めた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者支援</li> <li>・地域交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の目線、思いを考えながら対応する事を心掛け、共育(共に育てる)出来るよう努めた。</li> <li>・保護者に対して、懇談会やお便りを通して、保育の取り組み、目的を伝える事を心掛け、今後も継続。</li> <li>・行事等において第三者委員、民生児童委員に参加して頂き子ども達と触れ合う機会を設けた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理</li> <li>・安全対策</li> <li>・衛星面対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、防犯訓練計画に基づき、様々な設定で行う事で状況判断の場面も多く、より実践に近い形で訓練を進める事が出来た。</li> <li>・園内外における活動前の環境、職員配置、遊具の点検を行い安全性に努めた。</li> <li>・感染症対策の徹底、害虫駆除を計画的に行った。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	12 名	耳下腺炎	26 名	手足口病	13 名	他	41 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が発症した際は、掲示や手紙を配布をし、特に流行しているクラスに関しては、口頭でも保護者に発信した。11月に感染性胃腸炎が流行し、保健所の立会のもと、ノロウイルスと判明し、感染症が広がらないよう努めた為、大流行には至らなかった。</li> </ul>								

アレルギー児	8 人	単品	4 名	複合	4 名	エピペン対応	0 名	エピペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教対応にて豚肉除去2名。</li> <li>・全職員でアレルギー児とアレルゲンの確認を行い、誤食のないよう書面と口頭の確認を徹底。食器、トレイ、テーブルの配慮した。新任職員は年度当初に研修を受け、知識を深めた。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人総合避難訓練を行い、法人本部との連絡、連携を行う事が出来た。要救助者有の設定も状況判断する事の大切さや声を上げて連携していく事の大切さを再確認出来た。</li> <li>・防犯訓練は園長不在の想定で行い警察署指導のもと、指示系統や状況判断について実践した。</li> </ul>
---

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児クラスは体育活動が2年目を迎え、子ども達の体力測定にも結果が表れ、運動機能の発達に大きく関係しているの、今後も継続していく。</li> <li>・目的を持った遊び(活動)を取り入れる事で、日々の遊びや行事の中、発見する、想像する、ルールを学ぶという事の大切を改めて感じ、継続していく。</li> </ul>
---

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談、保護者会でのフリートーク、ほっとタイムの時間を大切にし、子育てに関する悩みを共有するよう努めた。又、日々の送り迎えの時間も大切にし、保護者の表情も気に向け、声を掛けるよう職員一同、配慮した。</li> <li>・子育てひろばも定着し、園見学や入園希望に繋がっている。</li> </ul>
---

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の接遇、子どもの気持ちの尊重、施設内清掃、保育内容の説明について「はい」の回答が90%以上満足との意見があり、今後も継続していけるよう努めていく。外部苦情窓口について「はい」の回答が70%に伸びたが、今後もより分かりやすく伝えていきたい。</li> </ul>
--



7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	1名	3名	4名	5名	8名	21名	実施回数	26回	参加人数	302名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	1名	1名	0名	0名	1名	3名	2人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉症	2		3	
---	-----	---	--	---	--

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	14名	6名	7名	11名	14名		3名	40名	0名	8名	1名	34人	18人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4件	2件	4件	5件	4件	4件	4件	3件	8件	11件	1件	2件	52件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	9月6日	竹馬練習中にバランスを崩し左足は竹馬から指が離れ着地できたが、右足は竹馬から離れず右足が乗ったまま左足親指に左足が着地してしまった。											
	発生場所	発生原因											
	園庭	近くに職員がいたが瞬時にバランスを崩した際、防ぎきれなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児	竹馬に乗る人数・職員の配置の声掛けを行っていく。												
2	発生日	発生状況											
	2月27日	夕方の合同保育中、隣にいた児とティッシュの取り合いになり、それに怒った相手がティッシュを返して欲しくて、両手で顔を引っ掻いてしまった。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	遅番時の伝達をする際に、手が出てしまう子ども達の様子を職員に上手く伝わらず、対応できなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児	遅番に入る前に子ども達の様子を把握し、気になる児同士が隣に座っていた場合は、傍に付いて見守るが、瞬時に起きる事がある為、すぐに対応出来る対策をとれるよう対応する。												

11. 研修

園内研修	外部研修	
3回	40回	90人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
4校	5名	5校	10名	10回	10名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	20 人	23 人	25 人	26 人	26 人	120 人
運用定員	20 人	24 人	26 人	26 人	26 人	122 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人ひとりの発達に応じた援助と環境づくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の発達に応じた援助を各クラスで行えるように環境を整えるように心がけたが、職員の意識の違いで全体での取り組みが不十分だった。乳児は、小人数で保育することで一人ひとりに深くかかわりを持つことが出来たため、課題を見つけることが出来た。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちに立った対応を考え、身につける。</li> <li>保育の向上のために研修に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを考えた言動や関わりを職員全員に周知することで、子どもはもちろんのこと、保護者や職員同士での関わりの中にも思いやりの気持ちが高まってきている。</li> <li>保育向上の為研修には参加したが、その研修を活かしていくことが出来なかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理、安全管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPを作成したが、それをもとに研修を行うことが出来なかった。避難訓練は様々な想定のもとに行い、引き渡し訓練では、第二避難場所の小学校での引き取り訓練を行った。不審者対応は警察署の方を呼んで、訓練を行った。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	32 名	耳下腺炎	0 名	手足口病	1 名	他	47 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>12月に胃腸炎の児が増え、区に報告、保健所の立ち入り指導を受けた。指導を受けたことで、職員の感染症に対する意識が高まった。その他の感染症については、流行することもなく、数名で落ち着いた。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	9 人	単品	2 名	複合	7 名	エピペン対応	1 名	エピペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>種別が複雑な対応の必要な子どもが2名、提供するときの確認を給食室、事務所、保育室で行った。牛乳アレルギーの子どもに間違えて牛乳を提供するミスがあったが、家庭で牛乳を飲む練習をしていたため大事に至らなかったが、職員間でもしっかりと確認する方法を考えた。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な想定で避難訓練を行い、職員がそれぞれが判断して避難する方法を考えるようにした。又、引き渡し訓練は、学校まで保護者が迎えに来て頂く想定で実施。警察署を招いて防犯訓練を実施。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が英語あそびで、歌やゲームを行い親しめる機会を作った。体操については、身体の使い方や運動に親しむ機会を作り、マットや跳び箱、縄跳びなどを行った。</li> <li>図鑑や地球儀等を活用して、保育の中で子ども達が自発的には調べたり考えたりする機会を多く設けた。</li> </ul>
---

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援「おひさまキッズ」を年間を通して計画し、多くの未就園児親子の参加があり、在園児と一緒に活動した。一時保育は、決まった職員が担当することで、保護者の方に安心して利用して頂いた。</li> </ul>
--

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケート回収率は、45.7%と低い回答になったが、全体的に満足度は高い評価をもらった。個別の意見としては、いつも忙しそうに話が出来ない、怪我に対しての対応が職員によって違う、保育に対しての説明や変更点の説明が不十分などの意見を頂いた。このことについて全職員で共有を行った。</li> </ul>
--

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	3名	4名	1名	8名	4名	20名	実施回数	19回	参加人数	622名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	27名	36名	40名	30名	34名	20名	31名	18名	18名	31名	30名	28名	343名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	1名	1名	1名	2名	5名	4人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉スペクトラム	2	アスペルガー症候群	3	
---	----------	---	-----------	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	36名	23名	25名	13名	15名		10名	61名	29名	11名	1名	68人	44人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4件	3件	4件	10件	18件	6件	11件	7件	5件	34件	8件	2件	112件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況	
	8月22日	ままごとのお皿を持ちながら棚に登ろうとして転倒、転倒した衝撃で持っていたお皿が割れて割れた部分が、左こめがみに当たり裂傷。	
	発生場所	発生原因	
	保育室	室内を走っていたこと、割れてしまう可能性のあるものをおもちゃとして使用していたこと。	
	対象	検討内容と対応策	
2歳児	棚の高さを変えて登れないようにする。ままごとの遊び方を遊ぶ前に説明をする。ままごとのおもちゃの劣化を点検する。		
2	発生日	発生状況	
	8月1日	園庭に張ってあるロープへ木から移ろうとしたときに、手がすべって落下、その際にベンチに顎の下をぶつけ切ってしまった。	
	発生場所	発生原因	
	園庭	ロープの下にベンチがあったことや手が濡れていたために滑ってしまった。	
	対象	検討内容と対応策	
5歳児	ロープを使うときには、安全面を考慮してマットを引いたり、職員がそばにいたりする。周りの環境を整える。		

11. 研修

園内研修	外部研修	
5回	28回	59人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
5校	7名	3校	13名	5回	7名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	27 人	30 人	35 人	36 人	37 人	165 人
運用定員	27 人	30 人	35 人	36 人	37 人	165 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上</li> <li>・保育目標の再確認と異年齢児保育、行事の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修受講後、園内で勉強会を実施し、職員間で意見交換を行った。又、ヒヤリハット報告を議題とし、事例研究を行い、積極的な意見が聞かれ、危険に対する意識を持った。</li> <li>・異年齢児交流の取り組みは、年長クラスが主に乳児クラスの寝かし付けや配膳の手伝いを行うことで深められた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、子育て支援と地域交流活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数年間、交流が続いている熟年者施設の方々が、子ども達の来訪をととても楽しみにしており、充実した時間を過ごすことが出来ている。</li> <li>・子育てひろばについては、月により参加人数の差が大きかったが、登録後は園庭解放の参加に繋がり、継続利用者が増えてきている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策は職員の気付きが大切であり、子ども達の生活環境において、事故や怪我に結びつきそうな箇所の改善、修繕に努めた。又、災害時の対応を起こりうる状況を想定し検討してきたが、必要な機材、人員配置、保護者への協力体制を整えることが課題である。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	42 名	耳下腺炎	2 名	手足口病	1 名	他	18 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノロウイルスによる感染性胃腸炎は異常な流行が見られていたが、園内では感染が広がることなく少数人数で収まる事ができた。インフルエンザについては、子どもの発症前に保護者より感染が拡大しており、園内で掲示等注意を促した。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	8 人	単品	5 名	複合	3 名	エビペン対応	1 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー食は、全職員が共通認識と確認を行いながら進めてきた。又、給食業者との内容確認も随時行うことで、誤食を防ぐことが出来た。重度症状における緊急対応、エビペン対象児については、保護者との確認事項を明確にし、対応時に備えた。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園時において、園庭内に自転車を乗り入れていることで門の鍵が開いている時間帯の安全が難しく、職員が注意を払いながら対応した。早急な改善が必要である。ヒヤリハット報告については、事例研究をすることで職員の意識向上に繋がった。</li> </ul>
---

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な活動として体育を行っているが、体力向上と共に社会性を育てることに重要性を持ち進めてきた。集団活動における声掛けや約束事等、普段の保育展開においても同様に、統一性を持たせ今後も継続し進めていきたい。</li> </ul>
---

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てひろばでは、在園児との交流は、参加される保護者の方々より大変喜ばれている。又、ホームページのリニューアルにより、とても見やすくなったとの声も多く聞かれるようになった。子育てひろば以外でも、園庭解放に参加される方が少しずつ増えてきているため、今後も継続できるよう、様々な媒体を使い勧めていきたい。</li> </ul>
---

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園時、駐輪場がないため園庭内に自転車を入れている状態であり、安全面での不安が聞かれている。又、園庭内の外灯であるが、老朽化により点灯時でも暗い状態であるため、夕方以降、保護者より意見が出されている。駅近くで人通りが多い為、早急に対策、対応が必要と考えている。</li> </ul>
--

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	4名	7名	6名	5名	7名	29名	実施回数	21回	参加人数	363名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	12名	17名	18名	15名	14名	15名	18名	15名	18名	18名	27名	28名	215名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	1名	1名	0名	0名	2名	1人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	発達遅滞	2	言語障害(遅れ)	3	
---	------	---	----------	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	~9:00	~12:00	~15:00	~18:00	~19:30	男児	女児
	47名	23名	21名	10名	18名		9名	61名	13名	33名	3名	68人	51人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	13件	13件	7件	6件	7件	8件	12件	4件	10件	21件	8件	10件	119件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	6月9日	室内遊び中、遊具が入っているカゴの端を押し、反対側部分が持ち上がり顔面をに当たり、歯茎より少量の出血を確認し、通院を判断する。											
	発生場所	保育室											
	対象	1歳児											
	対象	乳児クラスにおいて、立位や歩行状態が不安定であることを再認識し、遊具の内容や危険性を再確認する。											
2	発生日	発生状況											
	10月25日	保育室内で転倒した際に、ロッカーに側頭部をぶつけ、左耳たぶを裂傷。通院する。											
	発生場所	保育室											
	対象	2歳児											
	対象	室内での遊び方・過ごし方など、ルールを再確認し、全体に伝えていく。又、室内の生活環境を見直す。											

11. 研修

園内研修	外部研修	
8回	34回	77人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
5校	7名	4校	9名	18回	7名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	17 人	20 人	25 人	27 人	27 人	116 人
運用定員	18 人	22 人	25 人	26 人	28 人	119 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の育成の部分は大きい。この法人の理念をしっかりと理解、認識させ子ども達のために最善を尽くす意識を大切にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員面談で一人ひとりと保育について話し合い、法人の理念や園の目標を再度認識。職員会議を通して目標や取り組みを全体周知した。</li> <li>・ 子どもと向き合う大切さを認識、保護者への対応や連携を取るよう心がけ成果も十分あった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面、防災、防犯を重視し、施設の改修、強化の更なる取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災、避難訓練等、実際に役立つよう意識し、行ってきた事で安全面の強化に繋がった。事務室は園舎の奥にあり防犯、防災上見通しが悪い部屋の移動を行った。移動後は、見通しが良くなり、安全対策に繋がった。又、園庭門には防犯対策の一環として電子錠を設置した事で安全が以前よりは確保された。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士確保の目的もあり実習生の積極的な受け入れ、ボランティアへのきめ細かな説明等、保育園の理解を頂く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習生には、保育園の仕事が理解出来るように働き掛けるよう、職員一同で指導を行った。</li> <li>・ 子育てひろば、一時保育事業を通しより一層情報提供を行い、対応することで地域との関わりが深まった。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	27 名	胃腸炎	15 名	ヘルパンギーナ	14 名	他	56 名
-----	---------	------	-----	------	---------	------	---	------

・ 感染症予防の為、手洗い指導を受け、周知も徹底して行ったが、インフルエンザは1月に多数罹ってしまった。感染性胃腸炎も11月より出始め、2か月続いてしまった。保健所の指導を頂き予防に徹した。ヘルパンギーナは7月に集中した。

給食・アレルギー

アレルギー児	8 人	単品	6 名	複合	2 名	エピペン対応	0 名	エピペン使用回数	0 回
--------	-----	----	-----	----	-----	--------	-----	----------	-----

・ 月1回の栄養士を交えた給食会議で、連携を密に取るようにした事で、問題が発生しても早々に対応、解決し、進める事が出来た。重篤なアレルギー児はいないが、常に献立確認を行い間違えのないように進めてきた。

危機管理

・ 園内研修で危険個所の確認をする事で、怪我や事故に繋がらないよう気づきを大切にしたい。又、ヒヤリハット報告を周知していった。園庭門に電子錠を設置する事で防犯体制も整った。

4. 教育

・ リズム、和太鼓、体操、英語等、年間を通じて定期的に取り組んでいる。リズムは、身体を動かしながら異年齢児との交流も図れる良い場となっている。和太鼓は、夏祭りで発表することで子ども達の自信に繋がっている。体操は月に1度だが、指導内容を職員も学び日々の保育に取り入れる事で身体作りに繋がった。

5. 家庭支援

・ 一時保育は定着してきているので、沢山の方にご利用頂いている。専任で職員を配置したことで、保護者の方からも好評を経ている。子育てひろばは保育園体験を十分に味わって頂けるよう活動を進め工夫した。

6. 第三者評価、利用者アンケート

・ 特に優れている点の一つとして、園の基本方針に基づき、リズムあそびや体操、そして和太鼓の取り組み等、健康な子どもを育てているとの意見あり、今後期待される事として、お迎え時の子どもの保護者への伝達については、さらに工夫を要するとの評価を頂く。

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	2名	3名	4名	6名	4名	19名	実施回数	23回	参加人数	224名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	18名	29名	29名	27名	25名	30名	30名	26名	23名	24名	23名	28名	312名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	1名	0名	0名	1名	2名	4名	3人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	ダウン症	2	心臓機能障害	3	自閉症スペクトラム
---	------	---	--------	---	-----------

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	9名	11名	4名	7名	3名		23名	3名	6名	1名	1名	25人	9人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	9件	6件	3件	4件	1件	0件	2件	7件	0件	1件	0件	1件	34名

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	4月19日	発生状況	自分を軸にして回っていたところ転倒。側にあった木製の子ども用の椅子に右まぶたをぶつけ傷になる。
	発生場所	保育室	発生原因	本児の行動を早めに止められたら起こらなかったかもしれない。
	対象	5歳児	検討内容と対応策	職員同士で本児の事について伝達している時に起こってしまったので、本児の動きを早めに止められるよう、声を早めにかけていく。又、目を離さず見ていなくてはいけなかった。
	発生日	5月10日	発生状況	サッシに顔面をぶつけ、左ほほ下に切り傷となる。通院し2針縫った。
	発生場所	保育室	発生原因	本児の動きを予測し、事前に防ぐ事が出来なかった。
2	対象	4歳児	検討内容と対応策	常に本児の動き等に目を配り、危険を感じる動きが見られる際には、声を掛けたり空間を見直していく。

11. 研修

園内研修	外部研修	
2回	26回	54人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
6校	7名	4校	14名	2回	2名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	18 人	26 人	30 人	31 人	31 人	136 人
運用定員	18 人	26 人	30 人	31 人	31 人	136 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの発達に応じた援助や環境を設定し、子どもの生活や遊びが豊かで主体的に行われるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の体操遊具や園庭に固定遊具を取り入れたことにより子どもの遊びの広がりにつながった。又、玩具や制作の素材等、それぞれの年齢にあわせた遊びを提供することで、子どもが選択し主体的な遊びが展開された。素話を聞く経験や、観劇からイメージを膨らませ、豊かな感性を育む活動が出来た。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と保育士、保護者同士の繋がりの中で、安心して子育てが行われるようにする。</li> <li>地域との繋がりを深め、地域社会における責任を果たせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当番職員の顔写真を毎日掲示し、身近に感じてもらい、何気ない会話を保護者と持つ事で、一緒に子どもの成長を喜び、考えることが出来た。積極的にコミュニケーションをとり、子育てに安心感が得られるよう心掛けた。</li> <li>地域の方にも参加してもらった落語の会は好評で、園を身近に感じてもらうきっかけになった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全対策、危機管理等の取り組みにより、子どもが心身の健康を維持できるようにする。</li> <li>保育士が専門性を高め、生き生きと働ける職場をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人の合同訓練では、自衛消防組織に基づく役割分担を再確認し、安全に対する意識を高まった。アレルギー対応や感染症については、園内研修を行い、具体的に動きを確認することで健康の維持に努めた。</li> <li>職員が生き生きと働ける、メリハリのある職場作りを心掛けた。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	32 名	耳下腺炎	1 名	手足口病	1 名	他	47 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>胃腸炎が乳児を中心に、インフルエンザが幼児中心に流行した。保健ボードや、保健便りを配布し保護者に注意喚起し、感染の拡大を防ぐ協力を依頼した。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	4 人	単品	3 名	複合	1 名	エビペン対応	1 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>4月に1度誤食、子どもの体調には変化はなく大事に至ることはなかったが、職員の中でのアレルギー除去の認識の甘さもあり、給食業者と共に情報の共有を徹底した。給食では乾物を中心とする色々な食材に慣れ親しんだ。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の避難訓練に加え、防犯訓練や引き渡し訓練を行った。加えてプールあそびの際の安全対策についても、連絡体制や非常事態を想定してシュミレーションを行うこと、危機管理に対して再認識した。ヒヤリハットをこまめに記入し、内容を会議で共有し再発を防いだ。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが安心して過ごせる環境作り、職員の丁寧な関わりを心掛け、保育目標を念頭に日々の生活と遊びを展開した。伝承遊びでは、異年齢が関わり憧れを持ち、繰り返し練習し、目標に到達する事で自信や達成感へと繋がった。体操あそびでは、体を動かす心地よさを味わい、散歩では様々な事への興味を持ち、歩く経験を多く持つようにした。</li> </ul>
--

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の保育内容を掲示やブログで伝え、行事の際には保護者も協力し、小道具を一緒に作る等保育園の生活を楽しめるよう心掛けた。保護者会でお茶を飲みながら懇談する時間を設けた事は、好評だった。子育てひろばや保育所体験では、保育園の生活を体験し、情報交換の場となった。養育に支援が必要な家庭には専門機関と連携を取り特別な配慮のもと保育を行った。</li> </ul>
---

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>回答率は43.9%。内、満足以上の回答は82%だった。項目別にみると「子どもの気持ちを尊重した対応がされている」が88%。他、環境整備の面、給食提供、身近な自然や社会と十分関わっているかという点で、高い満足度が得られた。保護者への声掛け、コミュニケーションの部分で工夫を要する。</li> </ul>
---



7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	2名	0名	1名	3名	6名	12名	実施回数	17回	参加人数	278名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	1名	1名	0名	0名	2名	0人	2人

主だった主訴（上位3つ）

1	ダウン症	2	育成室通級	3	
---	------	---	-------	---	--

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	6名	4名	12名	3名	2名		2名	15名	0名	9名	1名	15人	12人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2件	1件	5件	4件	4件	2件	2件	4件	0件	0件	3件	0件	27件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況	
	11月30日	鬼ごっこをしていた時、段差につまずき点字ブロックにあご、両膝を打ち、歯の根元から血が滲んできた。	
	発生場所	発生原因	
	公園	段差につまずいた。	
	対象	検討内容と対応策	
5歳児	歯科受診。永久歯に生え変わりでぐらついていたが、更に歯がぐらつき、抜歯した。遊び方、遊ぶ場所を考えていく。		
2	発生日	発生状況	
	1月11日	排泄後トイレで意識喪失。痙攣や等は無。途中唇が紫になり、泡をふいた。救急車で搬送。救急車内で意識は戻り話せる状態になる。	
	発生場所	発生原因	
	トイレ	2歳児の際にも、同様の事が家庭でも起きている。原因不明。	
	対象	検討内容と対応策	
3歳女児	2から3日以内に発作があった場合、脳の検査をすることになっていたが、発作はなくダイアップの処方はない。同様の事例があった場合の対応や連絡方法等、確認した。		

11. 研修

園内研修	外部研修	
5回	26回	77人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
2校	4名	1校	5名	0回	0名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	20 人	23 人	28 人	29 人	29 人	129 人
運用定員	24 人	25 人	28 人	29 人	29 人	135 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日も来たいと思える保育園、子どもの自発性や自主性を活かした保育を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標を常に念頭におき、子ども達の現状を把握しながら保育計画を立てた。又、近隣に緑が多い立地条件を活かした運動活動を通して、明日も行きたい、楽しい保育園づくりを目指した。</li> <li>・個々を大切に、特に乳児保育では、少人数でグループ保育を行い、生活面の援助を行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から頼られる保育園、保護者が安心して生き活きと子育てが出来る保育園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流として、近隣の5つの保育園とのお祭りを始め、様々な活動を通して交流をした。又、近隣の専門学校の実習生の受け入れやレクリエーションなどを実施し、世代を越えた繋がりを持つことが出来た。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理意識を深め、安全、安心の保育園作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の終礼時で各クラスのヒヤリハットをあげ、その事例を職員で共通認識し、大きな事故や怪我に繋がらないようにした。しかし中々振り返りが出来なかったことが反省である。</li> <li>・毎月の様々な災害を想定した避難訓練を重視、行政からの安全確認連絡や地域からの情報を近隣保育園と共有した。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	28 名	耳下腺炎	0 名	手足口病	3 名	他	35 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が蔓延しないよう、日頃から、手洗いうがいを励行した。又、感染症が1人でも発症した場合には全職員、保護者に周知し蔓延しないようにした。11月にノロウイルスによる胃腸炎の大流行があり保健所の指導を仰ぎ、感染症マニュアルに従い嘔吐等の処理や消毒を徹底した。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	4 人	単品	2 名	複合	2 名	エピペン対応	0 名	エピペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食前に予防薬を服用している園児がいるので、毎朝の薬のお預かりと服用忘れが無い様に気を付けた。また、アレルギー食の誤配や誤食が無い様に、何重ものチェックを行った結果、アレルギー食による誤食は無かった。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の大切さをモットーに毎月の避難訓練は様々な災害を想定して行った。また、職員の不審者対応訓練では、葛西警察に依頼、園内研修として実施。機械警備だけに頼ることなく、子ども達の安全確保を様々な場面で職員と共に意識し、危機管理能力を高めた。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を取り入れ、月に2回幼児クラスを対象に実施した。又、その成果を12月に発表し、保護者に見てもらう機会を設け好評を得た。</li> <li>・男性職員による体育あそびを週に1度行い、リズムあそびと連動し、丈夫な身体作りや体幹を養った。</li> </ul>
---

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅家庭支援の一環として「バナナくらぶ」を毎月実施。季節に合わせた計画を立て、保育園体験をしてもらったり、育児相談を受けたりした。又、子育てに役立つ情報誌を月に1回発行した。リピーターも多く入園に繋がった子どもも多い。自園の保護者支援は信頼関係を築き、子育ての悩みを共感し、子どもを介して保護者と職員が共に学びあった。</li> </ul>
--

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートを実施、満足以上の回答は合計で93.2%であった。</li> <li>・年々満足度は上がっているが、長時間保育の子が落ち着いて過ごせるような配慮の更なる必要性や要望や不満があった。第三者委員など、職員以外に窓口があることを知らない方がまだまだ多い。周知の方法を検討したい。</li> </ul>
---

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	6名	7名	4名	9名	11名	37名	実施回数	20回	参加人数	390名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	1名	0名	1名	2名	4名	3人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	ダウン症	2	自閉症	3	発達遅滞
---	------	---	-----	---	------

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	26名	14名	7名	5名	3名		3名	35名	3名	12名	2名	32人	23人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5件	2件	6件	4件	3件	3件	1件	2件	4件	12件	2件	11件	55件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	9月13日	3歳児クラス男児が朝の時間に自席で机に両手をつき、その腕を支えにジャンプした際に突然泣き出し右肘付近を痛がった。通院した結果、右肘を脱臼していた。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	自席に座り、朝の会をしているので、本来なら机に手をつくような行動があつてはならなかった。話を集中して聞かなかったことが原因。											
	対象	検討内容と対応策											
3歳児	以前から脱臼しやすい子であると入園時の面談で保護者から話しを聞いていたので本児が危険な行動に出た際には未然に防ぐ事を職員徹底する。												
2	発生日	発生状況											
	11月22日	保育室で歩いていた際に転倒し、床に額をぶつけ出血した。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	特に変わりなく歩いて移動していたが、転倒したことが原因。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児	転倒した際すぐに手が出ず、額を床に打ってしまった。転んだ際に手が出るように普段の保育の中で、体幹を鍛えていく必要がある。												

11. 研修

園内研修	外部研修	
12回	8回	37人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
4校	4名	3校	15名	1回	1名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	24 人	25 人	27 人	27 人	26 人	129 人
運用定員	26 人	26 人	27 人	27 人	26 人	132 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>園目標に基づいた保育の充実</li> <li>専門職としての質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達一人ひとりの個性や笑顔を大切に、その育ちを保護者と共に見守るとは、どの様なことかを改めて考え、全職員で共有した。毎年2月に実施していた発表会を今年度は12月に変更。1月以降の保育がゆったり落ち着いて行うことが出来た。体操活動を取り入れたため、子ども達の新たな興味に繋がり参加した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修の充実</li> <li>安全対策、危機管理、防災対策の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修は、経験年数が近い職員でグループになり研修テーマ決めから主体的に取り組んだ。身近な内容だった為どのテーマも職員に興味深く意欲的に取り組めた。</li> <li>法人合同避難訓練では、負傷者の搬送や事務局への報告等良い経験となった。警察の方に年長児は防犯訓練を実施して頂いた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域子育て支援の充実</li> <li>家庭との連携 (信頼関係の再構築)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>其々の家庭状況に応じ、丁寧な対応を意識して来た。大人中心の子育てではなく、子どもの気持ちを上手く伝えながら理解を求めた。子育てひろば、保育所体験、一時保育の利用者からの入園児も多く、入園前から保育園の生活や雰囲気を知る良い機会となっている。地域の認証保育所と施設開放等を通じ、連携を行った。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	17 名	ヘルパンギーナ	16 名	胃腸炎	14 名	他	18 名
-----	---------	------	---------	------	-----	------	---	------

- 12月ノロウイルスによる胃腸炎が流行、嘔吐があった際の対処方法を全職員で再確認し徹底した。次亜塩素酸水を用いた清掃等を徹底し感染予防に努めた。
- 1月インフルエンザが流行。換気や湿度調節、清掃を心掛け、保護者の方にも注意喚起する。

給食・アレルギー

アレルギー児	14 人	単品	9 名	複合	5 名	エピペン対応	0 名	エピペン使用回数	0 回
--------	------	----	-----	----	-----	--------	-----	----------	-----

- 法人統一献立になり、保護者の関心も大きかった。保育参観にて試食を行い好評であった。
- 4月ししゃもアレルギーの誤食あり。アレルギー児が多い為、複数の確認にて誤食の無い配食する。

危機管理

- 津波を想定した避難訓練では、保育園建物の5階以上への避難を試みた。マンション管理会社より、連携した訓練を年1回行いたいと申し入れがあった。日頃からの安全点検、ヒヤリハットの共有等今後も危機管理、安全対策強化に努めた。

4. 教育

- 英語あそびでは、ゲームを取り入れたり英語うたに挑戦したり伸び伸びと楽しみ、発表会では自信を持って歌っていた。特に年長児はミュージカル調に構成した英語うたを披露し、その達成感就学に向けて良い自信となった。又、リズム遊びの経験のある職員が中心となり保育の中に取り入れ、子ども達も楽しんで参加していた。職員間で教え合う姿が見られた。

5. 家庭支援

- 定期的に臨床心理士が来ているが、保護者の希望に応じて発達に関する相談を出来る事も好評を得ている。連携して子の発達を見守る事が出来て来ている。
- 一時保育を利用している子どもが、同年齢の在園児達と一緒に遊んだり活動する機会も増え、普段では経験の出来ない経験ができ、利用者の方にも喜んで頂いている。

6. 第三者評価、利用者アンケート

- 利用者アンケートを実施。自然環境を活かした保育や、子どもたちの気持ちを大切にながら対応している事を評価して頂いた。一方、保育理念、方針についてや要望や不満があったときに第三者委員に相談できる事に関してご存じですかの問いに「はい」と答えた方が半数程度と低い数値になっていたため、次年度の保護者会で改めて保護者の方に伝えて行く。

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	3名	4名	4名	10名	6名	27名	実施回数	23回	参加人数	268名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	24名	25名	30名	31名	24名	32名	32名	34名	25名	26名	32名	39名	354名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	0名	0名	2名	2名	2人	0人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉症スペクトラム	2	発達の遅れ	3	
---	-----------	---	-------	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	45名	10名	10名	16名	5名		2名	59名	6名	18名	1名	71人	15人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1件	3件	3件	2件	3件	7件	2件	2件	0件	46件	14件	3件	86件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	4月13日	コンビカーに乗り遊ぶ。 コンビカーごと転び、上唇をぶつける。											
	発生場所	発生原因											
	ホール	手が出ず、顔面を床にぶつける。											
	対象	検討内容と対応策											
	1歳児	4月の時期の遊びや、発達に合った遊びか再確認する。											
2	発生日	発生状況											
	11月17日	友だちが持っていたままごとの服を振り、本児の右目に当たる。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	お互いの意見が違い喧嘩。											
	対象	検討内容と対応策											
	4歳児	喧嘩の際は注意して見守る。言葉で伝えられるように話す。											

11. 研修

園内研修	外部研修	
5回	13回	32人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
5校	9名	9校	12名	24回	7名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	16 人	23 人	25 人	27 人	27 人	118 人
運用定員	20 人	23 人	25 人	25 人	25 人	118 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の気持ちや姿を丁寧に受け止め、園目標を基に心の成長を目指した保育の取り組みを進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団生活の中で援助が必要な園児については、臨床心理士のアドバイスを受けることで、集団の中での過ごし方や関わり方を職員が学ぶことができ、どのクラスも穏やかな保育に繋がっている。全クラスが、園目標を意識した保育を進めており、子ども達の心の成長が感じられることがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>相手(子ども、保護者、地域の方同僚)の目線に立った対応を身に付け信頼と安心の関係作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に相手はどうであるかを第一に考え、自分に振り返ることが出来るよう、法人で作成した振り返りチェックシートを使い、園内研修を行った。最終的には、「自分自身」について振り返られるよう4つの項目を共通認識としてまとめた。自分への振り返りが関係作りの第一歩になることを意識している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの目線に立った危機管理の徹底と、訓練の実施を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを中心に置いて物事を考える様に、子ども目線で考えることでヒヤリハットの件数も増え、事故防止に繋がっている。訓練では、指示を待つのではなく職員それぞれが意識して行動出来る様、園長や副園長が不在の場合を想定して行った。普段とは違う想定での訓練は新たな気づきがありとても良かった。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	16 名	耳下腺炎	1 名	手足口病	1 名	他	64 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症が蔓延することがなかったことが良かった点である。その他の感染症でマイコプラズマ肺炎やRSウイルスが多く、喘息の持病を持った子どもも多いため、普段から咳症状には注意していきたい。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	3 人	単品	3 名	複合	0 名	エビペン対応	0 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>卵アレルギー2名はアトピー性皮膚炎の症状も見られ、アナフィラキシー症状はなかった。給食業者と十分に連携を図り、事故なく提供出来た。小麦不耐症児は転園の為退園。卵アレルギーは引き続き除去食提供となる。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>AEDが導入され全体で研修を行った。BCPの見直しを行い、職員で確認をし合った。防災や防犯だけでなく、常に「子どもの命を守る」ことに意識を向け、日々の保育の中の危険について注意していったことで、大きな事故なく過ごすことが出来た。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>3歳から5歳児を対象に月に1回の体操あそびを保育に取り入れた。マット、跳び箱、鉄棒、縄跳びプールあそび等は、子ども達の成長に大きな変化があり、諦めずにチャレンジする気持ちを学べている。子どもだけではなく、経験の浅い職員にとっては、子どもとの関わり方や伝え方について自分自身の学びとなっている。</li> </ul>
--

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てひろばの参加者を増やすために、見学後に開催する等して努力した。冬の寒い日になると参加者がかなり減り、不参加の日もある為、PRの仕方を工夫していきたい。参加者からは、子育て相談よりも入園についての質問が多く、保育園への関心が高く感じる。</li> </ul>
--

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初めに、前年度のアンケート結果から職員で目標を決め達成に向かって取り組んだ。アンケートの自由記載欄に「連絡はありません」という声掛けのみで子どもの様子が分からないという記載が多かった為、「お迎え時、一言声掛け」に取り組んできた。今年度のアンケートでは、その件については前回よりも良い評価であったように感じる。引き続き努力していく。</li> </ul>
---

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	1名	5名	4名	3名	7名	20名	実施回数	20回	参加人数	196名

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	1名	1名	0名	2名	1人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉症スペクトラム	2	育成室通所	3	
---	-----------	---	-------	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	72名	35名	24名	24名	11名		25名	112名	22名	6名	1名	120人	46人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	20件	12件	16件	12件	22件	12件	17件	11件	12件	12件	12件	8件	166件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生日											
	8月3日	集まりの会中、机に椅子の背もたれをかけ、手で揺らしていた、椅子がテーブルから落ちそのまま転倒。机に顔面を打ち、上前歯2本から出血があった為通院した。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	危険な行動に声を掛けることが出来ていなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児	子どもの行動の先を予想し、危険な場合は先に声を掛ける必要があるが、職員はピアノを弾いており、子どもは全員立っていた為友だちの影になっていたこともあり、見付けることが出来ていなかった。職員の目配りが必要である。												
2	発生日	発生日											
	12月1日	給食後に椅子を持って振り向いた時にふらつき転倒した。椅子の背もたれのパイプ部分と床の間に指を挟み、腫れがみられた為通院した。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	子どもが勢いよく振り向いた為、バランスを崩した。											
	対象	検討内容と対応策											
3歳児	給食後は、食器を片づける児や、着替える児等、室内でいくつもの行動がある。午睡の準備に気持ちが焦り、慌てた行動にもなるので、落ち着いて行動出来る様な声掛けや部屋の設定、雰囲気を整える必要がある。												

11. 研修

園内研修	外部研修	
5回	15回	45人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
3校	4名	3校	6名	3回	3名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	25 人	26 人	27 人	30 人	30 人	138 人
運用定員	25 人	26 人	27 人	30 人	30 人	138 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人ひとりが安心して、笑顔で過ごせる保育園生活を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月年齢別の会議を設け、子どもとの関わり等の共通理解や環境の工夫に努めた。</li> <li>リズム、園庭あそびを充実させ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを十分に味わえる様にした。</li> <li>保護者に登降園時に様子を伝える等、連絡を密にしていた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の中の保育園としての子育てひろばの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年より子育てひろばの回数を増やし、地域交流の場を提供してきた。家庭ではなかなか行えない巧技台や季節の制作を行い楽しめるように工夫した。赤ちゃんひろばを開催し、子育てについての相談や触れ合いの大切さを伝えてきた。</li> </ul>
チームとしての仕事を行う為に <ul style="list-style-type: none"> <li>役割を果たそうとする</li> <li>保育園の中での自分の位置を自覚</li> <li>日々の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>副主任を中心に振り返りチェックシートを用いて自身を客観的に見て、副主任からのアドバイスを受ける事により、自らが努力する姿が見られた。</li> <li>係や行事担当等、これまでの経験を活かして其々が役割を理解し、取り組むことが出来た。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	29 名	耳下腺炎	0 名	手足口病	3 名	他	9 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>7、8月、乳児を中心にヘルパンギーナ、手足口病が発症。1、2月頃に幼児を中心にインフルエンザが流行したが園内消毒を細目に行うことにより、感染の拡大を防ぐことが出来た。2、3月頃には乳児にヒトメタニューモウィルス感染症が流行。感染症対策の園内研修を実施した。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	8 人	単品	5 名	複合	3 名	エビペン対応	0 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギー児が普通食の子のパンに口をつけてしまった事故が1件。インターールの飲ませ忘れが1件。都度、職員間で検証、話し合いを行い、再発防止に努めた。給食は食材も豊富な為、好き嫌いや偏食の子が少なくなった。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯防災計画を計画通り行うことが出来た。訓練の内容に関しては、様々な想定や事態に即した訓練をも工夫した。災害マニュアルの読み合わせ等、職員の動きも含め全職員で共有した。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムや運動あそびを通じて十分に身体を動かしてあそび、様々なことにチャレンジする姿や頑張ろうとする姿に成長を感じた。年長児は毎月行われる「おはなし こぼこ」に参加することで話を聞く力が育った。</li> <li>研修での内容を職員間で共有し、自ら実践し積み上げて行くことが出来る様に取り組んだ。</li> </ul>
---

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てひろばは、計画的に実施。毎月10名程度の参加があった。年に2回は、赤ちゃんひろばを設け、妊婦や子育て中の保護者の悩み相談会も行った。保護者からの意見や要望に関しては検討し、丁寧な対応に努めた。</li> </ul>
---

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達に合わせた豊かな感性を育む活動、あそびが行われているかの問いでも高い評価を得ている。年間を通じてのリズムあそびや運動あそび、毎日園庭で朝から伸び伸びと遊んでいる様子等が評価されたと思う。一方で、今後の課題として朝の受け入れや降園の際の、子どもの様子等の伝え方に工夫や努力をしていきたい。</li> </ul>
---



7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	6名	7名	2名	3名	6名	24名	実施回数	18回	参加人数	384名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	0名	1名	2名	3名	3人	0人

主だった主訴（上位3つ）

1	場面緘黙	2	発達の遅れ	3	衝動性
---	------	---	-------	---	-----

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	41名	20名	19名	20名	29名		6名	68名	8名	45名	2名	59人	70人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2件	6件	2件	1件	2件	3件	2件	0件	0件	22件	54件	35件	129件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況	
	4月22日	お昼寝後の布団を片付ける際、目を開け起きているが腕が痛くて起き上がることが出来なかった。	
	発生場所	発生原因	
	ホール	お昼寝中、寝返った際に脱臼。	
	対象	検討内容と対応策	
5歳児	お昼寝中の寝返り等、よく様子を見守っていく。 体操の活動中も注意していく。		
2	発生日	発生状況	
	6月7日	園庭でリレー中にカーブの所で足を滑らせ転倒。左鎖骨を骨折。	
	発生場所	発生原因	
	園庭	転倒による骨折。	
	対象	検討内容と対応策	
5歳児	活動の前に危険が無いかが十分に確認しつつ、環境を設定する。遊びの際、走る時など自ら意識し手を付く等の話をしていた。		

11. 研修

園内研修	外部研修	
2回	40回	19人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
6校	9名	3校	13名	5回	8名

### 1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	27 人	28 人	28 人	28 人	28 人	139 人
運用定員	27 人	28 人	28 人	28 人	28 人	139 人

### 2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な身体作り</li> <li>異年齢児交流の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度途中より、毎朝全園児が自由に参加できるラジオ体操を実施。登園時間の為、保護者も参加することがあり、楽しんで継続的に健康を意識して取り組んだ。</li> <li>異年齢児で散歩に出掛け、一緒に食事を楽しんだり日常に異年齢児交流を取り入れたことで、お友だちの名前も覚えお互いの年齢を理解して遊ぶことが出来た。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との信頼関係を深め、家庭環境に応じた支援をする。</li> <li>地域の子育て支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の要望に応え、保護者会では写真や映像を利用して、子どもの生活する様子を伝えた。言葉で聞くよりも、笑顔の姿を見ることで安心した様子が伺える。会話も広がり、距離も縮まった。子育てひろばはリピーターや父親参加もある。参加者が友だちを誘ってきているので、友だちも作り易い環境になってきた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>チームワーク</li> <li>安全対策</li> <li>危機管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年目を迎え、行事や年間の動きに見通しが持てるようになり、計画的に進められた。職員間の声掛けも増え、お互いの立場を理解し、協力して業務に当ることが出来た。</li> <li>全職員で防災について意見を交換し、BCPの見直しをしたことで、新規採用者にも具体的に伝えることができ、意識も高められた。</li> </ul>

### 3. 養護

#### 健康・病気

感染症	インフルエンザ	20 名	感染性胃腸炎	16 名	ヘルパンギーナ	10 名	他	30 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症は出たものの、年間を通し大きな流行はなかった。手洗い、うがいを基本に感染症対策を徹底。感染症ボードには園の健康に関する掲示やお休みの状況等知らせ保護者にも都度お知らせした。よく見てくれるので、早目の対処をしてくれる方が多い。</li> </ul>								

#### 給食・アレルギー

アレルギー児	9 人	単品	4 名	複合	5 名	エピペン対応	0 名	エピペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギーの除去が複数ある子どもが多い為、除去する食材をを声に出し、指さし確認を徹底し、事故が無いよう一人ひとりが意識をして提供した。又、食事テーブルの座り方も年齢やクラスによって工夫し、環境を整えた。</li> </ul>									

#### 危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修では全員でBCPの見直しをし、災害時の対応について確認出来た。保護者の伝言ダイヤル訓練は参加率も高く、意識を持って頂ける機会なので今後も継続する。</li> </ul>
---

### 4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>サーキット・ヨガなどの運動あそびを引き継いできたので、より充実した活動になるよう月に1回の体育あそびを活動を取り入れた。身体の使い方の基礎や柔軟性、楽しみ方など内容は濃く子ども達も楽しみに参加した。職員も保育のヒントを頂き、日常や生活発表に取り入れた。園内研修で乳幼児の運動あそびにスポットを当て、全職員で共有出来た。</li> </ul>
---

### 5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てひろばの参加者は安定してきた。保育園の様子が見えるよう、毎回各年齢の子どもたちと関わる時間を設定している。育児相談も受け、リピーターとして参加し、父親の参加もあった。園内では、保護者会でのフリートークで保護者同士の繋がりが深められるよう内容を設定している。父母会の協力もあり、各クラス保護者の交流が深められている。</li> </ul>
--

### 6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>開園した年よりも自由意見は区立と比べる内容が減り、感謝の声を沢山頂き、職員も自信になっている。行事の内容見直し、保護者説明など評価が得られ、職員間で検討した甲斐があった。子どもの成長を中心に、保護者の意見も柔軟に取り入れて行きたい。職員意見では、職員連携がスムーズに出来るようになり、仕事が進めやすくなったことを感じている。</li> </ul>
--

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	5名	7名	3名	4名	6名	25名	実施回数	20回	参加人数	406名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	1名	1名	2名	4名	3人	1人

主だった主訴（上位3つ）

1	自閉症	2	精神運動発達遅滞	3	言葉・発達の遅れ
---	-----	---	----------	---	----------

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	44名	45名	29名	35名	35名		16名	127名	11名	34名	0名	124人	64人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	13件	18件	15件	12件	14件	13件	12件	14件	10件	30件	18件	19件	188件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	8月18日	プール遊びの際、潜った園児が、前方でバタ足をしている子どもの足が右目に当たり、目が充血。											
	発生場所	発生原因											
	プール	普段は2グループに分けて活動しているが、当日プール内で遊ぶ児が17名で、人数が少なかった為、分けずに入水した。十分なスペースが確保できていなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
4歳児	職員はプールの中と外に配置していたが、一人ひとりの活動スペースが狭くなるので2グループに分けて活動すべきであった。自由遊びのルールも再確認し、あんなに活動出来るよう職員間で確認、共有した。												
2	発生日	発生状況											
	10月25日	散歩先の新田公園広場で鬼ごっこをしている中、脇見をして走っていた友だちの肩にぶつかり転倒。犬歯で唇を強く噛み出血・裂傷。											
	発生場所	発生原因											
	公園	脇見をして走っていた。夢中になって遊んでいたことでスピードがあり止められなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
5歳児	広さにたいしての衝突を考え、公園内整備状況を確認し、職員配置をする。起こりうる事故について、子どもたちにも遊ぶ際の約束を話し、少しでも怪我に繋がらないよう配慮する。												

11. 研修

園内研修	外部研修	
3回	28回	62人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
4校	4名	3校	12名	2回	1名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	19 人	21 人	25 人	26 人	26 人	117 人
運用定員	19 人	21 人	25 人	26 人	25 人	116 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの育ちに寄り添い、生活や活動の環境を整え、より豊かに発達出来るような援助</li> <li>保護者との信頼関係の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの気持ちに寄り添う保育は、保育士がそれぞれ努力して行った。生活の中で子どもたちは、自分らしく自然に過ごせていたことは、良い点である。</li> <li>改修工事に伴う各部屋の移動があったが丁寧に説明、対応したことで、保護者の理解を得られた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全対策の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄関の電子錠は、大人が操作するように機会がある都度説明している。</li> <li>避難訓練は、発生場所や時間等を様々な災害を予想し実施した。津波を想定した訓練は、近隣の江戸川高校の4階への訓練を実施した。不審者情報等がある時は町会の方々が心配して連絡や見回りを実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への取り組み</li> <li>職員の連携、保育の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者情報等がある時は、町会の方々が心配して連絡や見回りを自主的に実施して頂く。地域のお祭りや防災講演会に参加。近隣の学生を行事に招き参加して頂く。</li> <li>園内研修では実践的な内容から保育力の向上に努めた。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	35 名	耳下腺炎	2 名	手足口病	9 名	他	54 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症が発症した際は、保護者向けに掲示し、情報提供をした。インフルエンザや感染性胃腸炎が流行し、感染。園舎消毒等を行い、拡大は防げた。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	3 人	単品	3 名	複合	0 名	エピペン対応	0 名	エピペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>重篤なアレルギー児はいないが、給食業者、担任、事務所での複数チェックを行い事故無く提供した。食材で食に興味を持てるよう、野菜の皮むきや野菜洗い等を行い食材に触れ合う機会を設けた。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が災害に対する知識を高められるよう、避難訓練の担当を決め様々な訓練の想定を行い計画的に実施。引き取り訓練は避難場所である公園に避難、その場での引き取り訓練を行った。</li> <li>改修工事があり安全に十分配慮しながら保育が出来た。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>体育あそびをとして、体幹やしゃがむ動作等、不得意な状況が見受けられる為、遊びを通しての相撲体操を取り入れた。珍しいこともあり、子ども達は楽しみながら相撲体操を行った。</li> <li>異年齢交流日には、他のクラスの子どものとの関わりを持ち思いやる気持ちも養えた。</li> </ul>
--

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てひろばは、工事期間中の危険性を考え、12月から2月まで中止。3月は、ひな祭りお茶会があり参加も多少多かった。入園見学も工事中にも関わらず多数の見学があった。</li> <li>家庭支援センターとの連絡を取り、小学校への引き継ぎもしっかり出来た。卒園後も支援していきたい。</li> </ul>
--

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>回答割合41.6%。大満足、満足80.9%であった。自由意見には、子ども達と先生方の信頼関係が築けていて、子どもも楽しそうに登園している、風通しが良く感じの良い園だと思える等、園に対して信頼をされていることが感じられる。</li> </ul>
--

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	3名	2名	6名	0名	7名	18名	実施回数	15回	参加人数	233名

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0人	0人

主だった主訴（上位3つ）

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

9. ヒヤリハット

件数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	40名	28名	22名	19名	10名		5名	88名	17名	9名	0名	65人	54人

発生時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6件	3件	4件	6件	21件	7件	9件	7件	2件	23件	12件	19件	119件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生状況											
	7月13日	室内を移動中に身体のバランスを崩し転倒した時転んだ先にままごとの机があり上唇、歯をぶつけ出血。											
	発生場所	発生原因											
	保育室	身体のバランスを崩す。											
	対象	検討内容と対応策											
	3歳児	移動した際近くにままごとコーナーが、あった為、予想も付かない動きがあることを想定して保育するよう職員間で共通意識を図る。											
2	発生日	発生状況											
	2月13日	船のアスレチックにて遊んでいる際に押しつぶされバランスを崩し落下。左上唇、顎の2箇所縫合。レントゲンCT画像より下顎骨骨折。区報告済み。											
	発生場所	発生原因											
	公園内船のアスレチック	禁止していたが鬼ごっこをしてしまった事を各保育士が把握していなかった。危険個所に保育士が付いていたが、すぐ行ける距離ではなかった。											
	対象	検討内容と対応策											
	4歳児	遊具で遊ぶ時は、保育士の危険個所の定置を事前に決める。園児の場所の把握。遊ぶ際の約束を検討し子どもたちに徹底するように話した。											

11. 研修

園内研修	外部研修	
3回	31回	93人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
3校	3名	2校	10名	1回	1名

1. 利用定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	22 人	23 人	23 人	23 人	23 人	114 人
運用定員	22 人	23 人	23 人	23 人	23 人	114 人

2. 重点目標

重点目標	評価・反省
<ul style="list-style-type: none"> <li>園児一人ひとりの発達を把握し、子ども達が安心できる関係づくりが築けるよう保育を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の保育の中で子どもが興味を持つような内容を考え様々な体験を行い、職員が共に共感し、安心できる信頼関係を深める事が出来た。</li> <li>やるべき時と遊ぶべき時の区別をしっかりと意識し、メリハリのある保育を進める事が出来た。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との信頼関係を築く。</li> <li>地域に愛される保育園づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の登降園や個人面談、行事等の中で積極的に保護者との関わりを持つよう努めた。会話術や伝達という面においては更に技術向上に努めていく必要がある。</li> <li>地域でのお祭り等に積極的に参加し、当園を知って頂ける様になった。又、近隣の老人ホーム利用者との交流する場を定期的に設け、進めた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規保育園のため、職員同士の意識の統一と連携を図る。</li> <li>危機管理(事故、感染症等)の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、保育目標の確認を行い、不明点等は職員会議の中で確認し、共通認識や意志統一を図り進める事が出来た。</li> <li>感染症では保護者への情報提供等を細目に行った事で保護者が感染予防に積極的に努めて下さった。</li> </ul>

3. 養護

健康・病気

感染症	インフルエンザ	18 名	耳下腺炎	6 名	手足口病	0 名	他	44 名
<ul style="list-style-type: none"> <li>主にインフルエンザ、感染性胃腸炎、頭じらみが多く目立ったが、保護者への早期情報提供により感染症に対する予防を家庭においても行われた。</li> </ul>								

給食・アレルギー

アレルギー児	6 人	単品	6 名	複合	0 名	エビペン対応	0 名	エビペン使用回数	0 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>法人栄養士と給食業者栄養士との連携を密に取り食事提供を進め、アレルギー提供ミス等も確認をしっかりと行ったため無かった。</li> </ul>									

危機管理

<ul style="list-style-type: none"> <li>12月より防犯カメラ、電子施錠の設置を行う。特に電子施錠に関しては出入りの際には暗証番号を入力するため保護者への周知に時間がかかった。又、保護者からも安心感を与える事が出来た。</li> </ul>
--

4. 教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>11月より英語あそびを開始する。対象は全クラスとするが1～2歳児に関しては外国人講師との関わりを中心に進める。幼児に関しては簡単なスペルや歌等を行い、子ども達も遊びを通しての英語を楽しむ姿が見られている。</li> </ul>
--

5. 家庭支援

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度4月より実施する子育てひろばに向けて準備を行った。又、入園を希望される保護者に対しても子育ての悩みや相談の助言やアドバイス等を行った。</li> </ul>
---

6. 第三者評価、利用者アンケート

<ul style="list-style-type: none"> <li>11月に第三者評価を受審する。回収率が低かったが約90%の満足度を得られる事が出来た。しかし、職員による「会話術」や「伝達ミス」等の指摘を受ける。</li> </ul>
---

7. 延長保育・一時保育・子育てひろば利用実績（自主事業）

延長 保育 3月	申請	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	子育てひろば、保育所体験			
	人数	1名	1名	0名	4名	2名	8名	実施回数	0回	参加人数	0名

一時 保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	未実施												0名

8. 気になる子ども（区申請人数）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	男児	女児
人数	名	名	名	1名	1名	2名	0人	2人

主だった主訴（上位3つ）

1	側脳室発達遅滞	2	社会性全般の遅滞	3	
---	---------	---	----------	---	--

9. ヒヤリハット

件 数	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	時 間	～9:00	～12:00	～15:00	～18:00	～19:30	男児	女児
	48名	38名	77名	41名	51名		4名	218名	3名	28名	2名	161人	94人

発生 時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	11件	5件	7件	1件	1件	40件	33件	34件	37件	40件	25件	21件	255件

10. 事故報告（主だったもの）

1	発生日	発生日		発生状況	
	1月13日	公園の固定遊具から両手を持ち上げ、園児を移動させようとした際、左肘を脱臼。			
	発生場所	公園		発生原因	
	対象	1歳児		乳幼児の脱臼の恐れがある事への認識不足。	
				検討内容と対応策	
			乳幼児に対しては、特に脱臼の恐れがある事を十分理解し、保育にあたり、周知徹底を行う。		
2	発生日	発生日		発生状況	
	3月23日	避難訓練の際、保育士が園児を抱きかかえたまま転倒。園児の額にたんこぶと擦傷をつくる。通院し異常なし。			
	発生場所	園庭		発生原因	
	対象	1歳児		避難の際に保育士が慌てたため。	
				検討内容と対応策	
			保育士が園児を抱きかかえて移動する際には絶対に走らないという基本的な事を再度、周知徹底を行った。		

11. 研修

園内研修	外部研修	
1回	24回	54人

12. 実習・ボランティア

実習		学生職業体験		ボランティア	
受入校数	受入人数	受入校数	受入人数	実施回数	受入人数
3校	6名	0校	0名	1回	3名